

15・16年度学力向上フロンティアスクール

研究主題

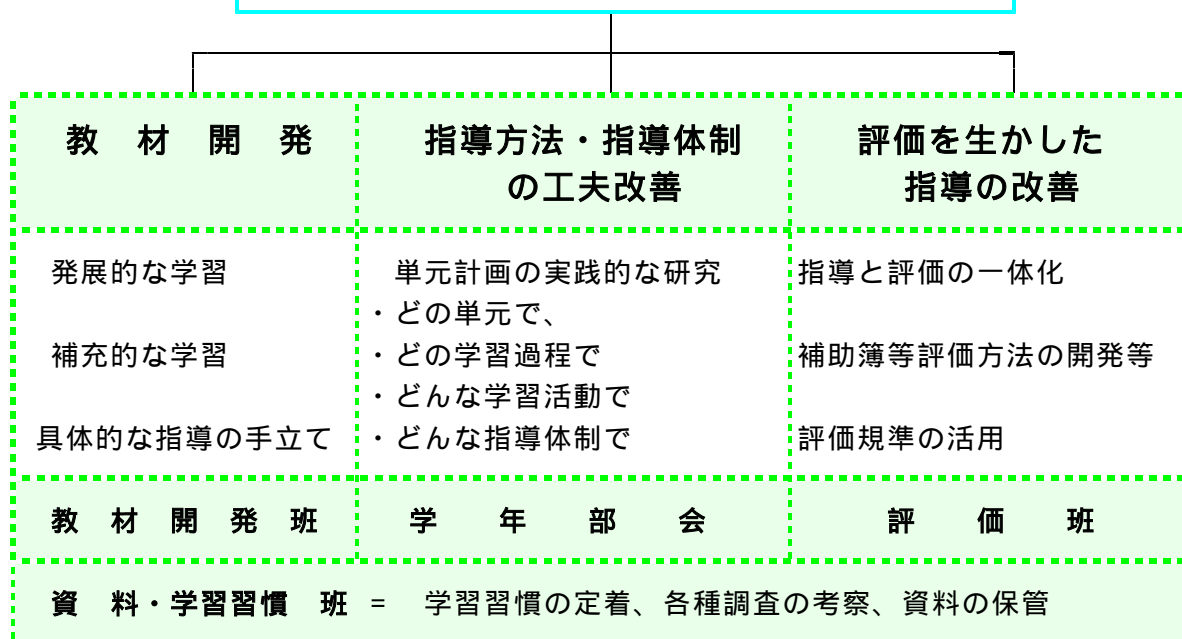
**確かな学力を目指して**

基礎・基本

自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、  
行動し、よりよく問題を解決する資質や能力

**ー算数科におけるきめ細かな指導の工夫ー**

理解や習熟の程度等に応じた少人数指導  
チームティーチング  
一人一人の状況に応じた指導



教師の願い

児童の実態

保護者の願い

# フロンティアだより 磯部小

平成15年5月7日

## フロンティア Q&A

Q、フロンティアスクールとは、何ですか。

A、 磯部小学校は、15・16年度の2年間、文部科学省と群馬県教育委員会より学力向上フロンティアスクールの指定を受けました。これは、確かな学力の向上を目指して、子ども一人一人に応じたきめ細かな指導を進めていくこと、また、その成果を近隣地域の学校に普及していこうという内容のものです。

Q、具体的にはどんなことをするのでしょうか。

A、 子どもたちの理解や習熟の程度に応じた指導の工夫を少人数学習で進めていきます。そのために、発展的な学習や補充的な学習など子どもの実態に応じられるようなものを工夫していきます。

Q、どの教科で進めるのでしょうか。

A、 理解の程度や計算技能の習熟の程度などに違いが見られやすい算数科で進めていきます。

Q、どのような少人数学習ですか。

A、 1・2学年は、1学級を2人で進めるチームティーチング(T・T)です。3～6学年は、1学級を2クラスに分けて、それぞれのクラスを1人が担当します。現在は名簿の番号をもとにクラス分けをしています。理解の程度や計算技能の習熟の程度などに違いが見られる時には、ある程度それに応じたクラス分けをします。場合によっては、学年2学級を3クラスに分けることにもなります。その方がより個に応じた学習が可能だからです。すでに昨年度5・6年生で実施しています。

Q、理解や習熟の程度によるクラスはどのように分けるのですか。

A、 理解や習熟の様子をみる準備プリント、子ども自身の希望、さらには親子での相談、教師の助言等で決めていく予定です。

保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いします。

# フロンティアだより

磯部小

平成15年7月2日

## 計算力をつけよう

「読み・書き・計算」という基礎的な学力は反復練習によって身に付きます。計算力をつける1つの方法として、「百ます計算」というものがあります。それは、百のますにたし算・ひき算・かけ算をやっていくもので、この計算を何度も繰り返し練習するというものです。その時に毎回自分のタイムを計り、時間を短くしていくことでやる気が出てきます。その結果毎日取り組むと計算力が見違えるように伸び、同時に集中力をも高めるといわれています。どの子ども自分の計算力に応じて力を伸ばすことができる勉強法です。

本校でも、学年に応じて実践してきました。今後も朝学習等でさらに工夫して行なっていきます。

6年生のある学級でかけ算の百ます計算を5日間継続して取り組んだ時のタイムの伸びを紹介します。

2分35秒	1分45秒。	3分33秒	2分56秒。	1分45秒	1分34秒。
1分45秒	1分。	2分33秒	2分06秒。	3分07秒	2分23秒。
3分33秒	2分46秒。	2分42秒	1分49秒。	1分59秒	1分21秒。

次に、取り組んでいる子どもたちの感想を紹介します。

○もっとタイムが速くなったらうれしい。でも1番始めにやった時よりは、速くなってうれしかった。かけ算とたし算は好き(けっこう速くできる)でがんばれるけどひき算はむずかしくて・・・もっと速くするためにがんばりたい。百ます計算は、タイムが速くなるとうれしいし、タイムがさがるとくやしいけど、とっても楽しいです。

○とってもおもしろい。どんどん速くなっていく(タイムが)からやる気がでる。今のところ、かけ算が速いからひき算やたし算も速くなるようにがんばりたい。ひき算はさいこう記録がでてうれしかった。

百ます計算をして一番かけ算が速かった。たし算やひき算もいっぱいやっていいタイムをだしたい。

この百ます計算に親子で取り組まれたご家庭もあったようです。親御さんの感想を紹介させていただきます。



百ます計算の用紙を家に持ち帰ってきた時、以前テレビで見た陰山先生のものだと興味をひきました。持って帰るとすぐにタイムを計ってくれと言われそれをやってみました。単純なことだが、繰り返せばこれは実になるなと感じました。特に負けず嫌いな家の子はタイムをあげる事に夢中になり楽しんで取り組んでいたようです。やはり勉強方法は、いかに子どもの心をつかんでできるものかが重要だなと思いました。

# フロンティアだより

磯部小

平成15年7月15日

## コース別学習

5学年では、算数科「四角形をつくろう」の学習でコース別の学習を取り入れました。前半は1学級を2クラスに分ける少人数学習で、後半は2学級を3クラス(3コース)に分けた理解・習熟の程度に応じた学習指導を実施しました。垂直・平行などの学習をした後、後半の学習「いろいろな四角形」に入る前に各自が自分でコースを選びました。

コース名は、5年社会科で学習するお米にちなんで、「ササニシキコース」「コシヒカリコース」「ゴロピカリコース」としました。それぞれのコースで真剣に取り組む姿が見られました。

コース別で学習した後の子どもたちの感想を紹介します。

わからないところがよくわかってよかった。また、コース別をやりたい。  
自分に合ったペースでよかった。  
おいついていけなかった。  
よかったことは、いっぱい手を挙げてはっきりいえたことで、よくなかったことはない。  
最初は平行四辺形をかくのがうまくできなかつたけど、やっていくうちにうまくできた。  
台形や平行四辺形の勉強がよくわかった。ふくしゅうをじっくりできた。  
みんな同じスピードで進められるので、勉強がスムーズにできた。でも、競争みたいになってしまうのはよくないと思います。  
自分にあったペースでどんどん進めたり、ゆっくりしたりということがよかった。  
プリントをいっぱいして練習問題がたくさんできた。  
先生がわかりやすく楽しく教えてくれました。  
むずかしいテストで学力がつけられてよかった。



ほとんどの子どもがコース別学習を好意的に積極的に受け入れていることがわかりました。次のような結果も得られましたので紹介します。

コース別の学習は、楽しくできたか。

楽しくなかった 0%

とても楽しくできた 45%	楽しくできた 51%
---------------	------------

あまり楽しくなかった 4%

コース別で学習して、勉強がよくわかったか。

あまりわからなかった 4%

よくわかった 67%	わかった 29%
------------	----------